

南木曾えごま同好会設立総会 あいさつ （ 要 旨 ）

只今は「南木曾えごま同好会」が設立され誠にめでたうございます。

言うまでもなく新型コロナウイルスの感染が拡大する中で最近では明るい話題が少なくなりがちですが、そのような中で本日「えごま同好会」が新たに発足したということは、大変嬉しいことであり、町としましても嬉しいことでもあります。

また町内の農業の状況も決して良いわけではなく、農業後継者の不足や遊休荒廃農地の増加から、農業生産量の減少、鳥獣被害の増加など悩ましい問題が多くあります。それだけに、今回こうした形で「えごま生産者」の皆さんが集まり、栽培方法の研究や普及、さらには商品化による販路拡大などに取り組んで頂けることには、大変な楽しみを持っているところであります。

先程会長さんが仰っていただいた「ふるさと納税」については、町でも力を入れている部分です。現に返礼品を目当てに申し込まれる方がいることも事実ですので、返礼品にどのような品物があるかということは重要になってきます。今は食品、食べ物が人気商品となっていますので、新しく「えごま」が加わってもらうことに大いに期待をするものです。

町としましては、ご意見や要望を聞かせて頂く中で応援出来ることを一緒になって取り組んでいきたいと考えています。この会の活動を通じて、農業振興や地域づくりにつながればと思います。会員の皆さんの一層の活躍とご健勝、会の発展を祈念して簡単ではありますが、お祝いと期待の挨拶とさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。また本日はおめでたうございました。

(令和3年1月23日 南木曾会館会議室)